

沼田頼輔 沼田 考古學者、紋章學者、文學博士。慶應二年四月十七日相模國愛甲郡宮ヶ瀬村生れ、昭和九年十一月二十七日歿（一八七一—一九〇一）。舊姓山本。號懸重翁、瓶堂。神奈川師範學校を經て、帝國大學文科大學選科卒。同大史料編纂所所長、西大寺高等女學校校長、のち山内家中編纂所主任。紋章研究の第一人者、その著『日本紋章學』(大正十五年刊)は帝國學士院恩賜賞受賞。授賞理由は「從來我が邦に行はれたる紋章の顯せる一切の事項を研究し、新たな組織を以て日本紋章學と名づけ、之を據りて主として國民の姓氏及び姓氏と紋章との關係を説明し、以て國史の研究に資するにこそ自的とした」(官報)とある。

他に、『日本農業小史』(明治二十七年)二月八日明治書院)、吉田房『中世史』(明治二十八年)一月十八日岡山・吉田書房)、『櫻齋長』

(明治二十八年五月)二十日岡山・本郷安次郎刊、明治書院・本郷叢文堂發賣)、稿『本考古年表』(考古學會編、大正六年五月)二十日聚精堂)、

『白根の重裝』(大正十五年九月七日刊)、稿『日本紋章學』(昭

和二年)一月二十日明治書院)、『虎子集』(昭和六年十一月二十一日

書物春秋會)、『大野家紋考』

(昭和九年刊、無刊記)、『紋章

叢話』(昭和十年十一月二十七日

明治書院)等。

